



みなとだより

和歌山市立湊小学校
令和7年8月号

好き、得意を おもいっきり！



教育目標
人間性豊かで
たくましい子

児童のみなさん、夏休みは、どのように過ごしていますか？

終業式の日、校長先生からは、「夏休みや自由な時間がたくさんあります。自分の好きなこと、ちょっと得意なことなどを思いっきりやってみてください。」と話しました。当たり前ですが、時間は過ぎてしまったら戻ってきません。できれば時間を有効に使ってたくさん勉強したり、練習したりしたいものですね。こう言うと、「時間ばかりかけてもだめじゃないか」と思う人もいるかもしれません。でも、世の中で一流（すごい）といわれる人たちは、やっぱりたくさん使っているのです。

実は、世の中のいろいろな分野で一流といわれる人たちと、その時間との関係を調べたエリクソンという学者がいます。エリクソンは、「一流」「天才」と呼ばれる人と「二流」「三流」と呼ばれる人では、何が違うのかを明らかにしようと思いました。そうしたら、1つの違いが分かってきたそうです。

一流と呼ばれる人たちは、7才から20才の間に、平均して10,000時間の練習をしていたのだそうです。これに対して、一流でない人のグループは、同じ7才から20才の間に、平均して5,000時間の練習をしていたそうです。

さらに、天才とか一流といわれた人たちは、集中して練習した時期があったそうです。また、大事なことに、集中して練習した時期が早いほど一流になっているのだそうです。

つまり、たくさん時間練習する、集中して練習する、なるべく早い時期に練習するというのが、一流になるためにとても有効だということです。

みなさんの中にも、勉強をがんばっていたり、習い事をがんばっていたり、スポーツを頑張っていたりする人がいますね。誰でも将来は、「天才だ」とまではいかななくても「一流だな」といわれるようにはなりたいのではないでしょうか。

そのためには、たくさん時間をかけて、集中して取り組むことが大事だということです。

今、ちょっとやる気が出ない、集中できない人も、将来の自分を思いえがいて、もうひとがんばりしてみましょ。そのためには、勉強や習い事を好きになり、楽しんで練習できることが一番です。

何でもいいのです。自分の好きなこと、ちょっと得意なことなどをおもいっきりやりましょ。

夏休みは、まだまだあります。さっそく、今日から頑張ってくださいね。